

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



丸子のとうろ汁は芭蕉も食し、「梅若菜丸子の宿のとうろ汁」と詠んだ丁子屋の前に石碑がある。

東海道五十三次
 江戸より三番目の宿
 丸子 丸子こ。



東海道
 五十三次
 丸子宿

張重吉 筆

繁華な前宿村中から一変して、丸子は静かな山あがりである。ひなびた趣のあるこの場所には、素朴なとうろ汁が似合う。昼なお小憩い宇津谷峠には旅人を襲う鬼伝説が伝わり、いまも「厄除けの十団子」が住まわっている。



丸子の強い特産の自然薯をみそで炊いて、麦飯にかけて食べるもので、さくらもちの地の名物である。

丸子宿周辺は道幅も二段と細く、日陰が有り谷間を歩くと、感じがある。宿場閑休の史跡は本陣跡の碑がある。かみだが古めかしい民家が立ち並ぶ静かな通りもある。

丸子宿のとうろ汁は、若りの強い特産の自然薯をみそで炊いて、麦飯にかけて食べるもので、さくらもちの地の名物である。

丸子は丁子屋がワラがき屋根の昔懐かしい宿で、日祭目録には決り東海道が滋養することもある。広魚の揃った風景とそっくりなため、店の前で記念撮影していく人も多い。